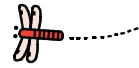




学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

時間を有効に使いましょう！…「即行」「即止」



早いもので今年度も折り返しの時期となりました。秋は気持ちも落ち着き、学習や生活に力を発揮できるよい季節です。不安や心配、ストレスに押しつぶされることがないように、目の前のことをひとつひとつ丁寧にとりこんでいきたいものです。中体連ブロック新人大会も終わり、来週は中間考査…。やるべきことはたくさんあると思いますが、時間を意識し、有効に使ってほしいと思っています。今号では、時間を有効に使うための心構えについてお伝えします。

「時は得難くして、失いやすし」という言葉があります。これは中国前漢時代の歴史家である司馬遷がまとめた歴史書にある言葉です。「人生の中でチャンスはなかなか巡ってこないもので、たとえ来たとしても油断するとすぐに取り逃がしてしまう」という意味です。

私たちは、やるべきことを「後にしよう」と先送りしてしまうときがあります。そして、後で「あの時やっておけばよかった」と後悔するのです。

また、無意味なことにダラダラと時間を費やす場合があります。「やめる」のには勇気がいりますが、やめなければ前に進めないこともあります。大きなチャンスをつかむためには、普段から身近なチャンスをつかむ練習が必要なのです。その練習とは…。



「即行」＝気づいたらすぐに行く 「即止」＝気づいたらすぐにやめる

つまり、行動力と決断力を養う練習です。「運」や「ツキ」は与えられるものではなく、自らがつかむものなのです。さあ今日から、時間の有効活用の始動です。

- ①まず、今日の小さな目標を立ててみよう
- ②「今日やること」を決めたならば、集中して今日中にやり遂げよう
- ③空いた時間も有効活用して、確実にチャンスをつかもう

すべての人に平等に与えられている時間ですが、①～③を積み重ねて有効に活用するか否かで、大きな差となります。まずは、学習への集中と生活態度の見直しをしていきましょう。確実に時間は過ぎていきます。過ぎ去ったことは元に戻せません。後悔なく過ごすためにも、「即行」「即止」は大切なキーワードです。限りある時間を有効に使い、これからの学校生活を充実させていきましょう。

うきは市、小郡市・三井郡中学校新人大会【ブロック新人大会】健闘しました

9月28日(土)にブロック新人大会が開催され、絶好のスポーツ日和の中、すべての競技が予定通りに実施されました。どの部も全力を尽くし、各会場で熱戦を繰り広げてくれ、最後まであきらめない姿勢で試合に臨む姿からは、たくましさを感じ、うれしく思いました。

この新人大会で、冷静に自分やチームの力を振り返ることができたでしょうか。自分やチームの弱いところ、課題は何か、今後どこを鍛えていけばいいのか、逆によさ、強みに何か、どこを伸ばせばいいのかを丁寧に整理してほしいと思っています。課題と目標がハッキリすれ

ば、意識が変わります。意識が変われば、きつい練習も苦にならなくなり、漫然と過ごしていた部活動の時間が貴重な一日一日に変わるはず。10か月後の夏の大会でうれし涙を流すために、試合後に感じた気持ちを忘れずに一步一步日々努力を続けてほしいと思います。みなさんのさらなる成長を期待しています。

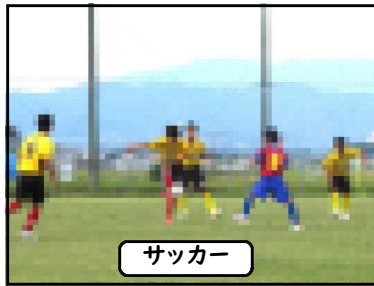
保護者のみなさま、応援ありがとうございました。今後ともご声援をよろしくお願いいたします。

部活動名	本校の成績	部活動名	本校の成績
ソフトテニス男	惜敗	バレーボール男	優勝 (地区へ)
ソフトテニス女	3位	バレーボール女	惜敗
サッカー	準優勝	卓球 男	優勝 (地区へ)
ソフトボール	準優勝 (地区へ)	卓球 女	3位
バスケットボール男	惜敗	剣道 女	準優勝
バスケットボール女	準優勝	軟式野球	惜敗

※ソフトボール及びバレーボール男は他校との合同チームで地区大会に出場



ソフトテニス



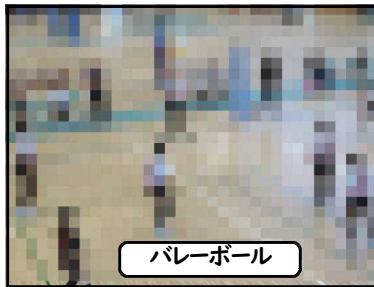
サッカー



ソフトボール



バスケットボール



バレーボール



卓球



剣道



軟式野球

筑後地区中学校新人大会		
卓球男	11月16日(土)	柳川市民体育館
ソフトボール	11月2日(土)	久留米市東部運動公園
バレーボール男		朝倉市朝倉体育センター

健闘を祈っています がんばれ!!

より充実した生活を送るヒント

「正範語録」〈右図〉…これは作者がわかっておらず、読み方も「せいはんごらく」なのかわかっていないそうです。また、武田信玄の名言が元となったのではないかなど、様々な説があります。

そんな「正範語録」ですが、生き方を考える言葉として有名です。一文一文が的確で、この言葉を実生活に当てはめて考えてみると、確かにそうだ！と心の中で納得させられてしまいます。そして、よし！とにかく一生懸命にとりくもう！本気で向き合おう！って…弱い自分を奮い立たせてくれる言葉でもあり、より充実した生活を送るヒントになります。

勉強や部活動だけではなく、社会に出てからもこの考え方はとても参考になります。この言葉を振り返り、自分を見つめ直してみると、新しい発見があるかもしれませんね。

正範語録

実力の差は努力の差
 実績の差は責任感の差
 人格の差は苦勞の差
 判断力の差は情報の差

真剣だと知恵が出る
 中途半端だと愚痴が出る
 いい加減だと言いつばかり

本気でやるから大抵のことはできる
 本気でやるから何でも面白い
 本気でしている誰かが助けてくれる



小郡市立小郡中学校

令和6年10月4日



小郡中学校だより

第220号

校長 船津聡哉



学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

全国学力・学習状況調査について① 【全国学力調査について】

文部科学省が実施しました「全国学力・学習状況調査(国語・数学)」(令和6年4月18日、3年生対象)の結果についてお知らせします。それぞれの個人票はお配りしていますので、今号では、それぞれの教科の領域等に関する全体的傾向をお伝えします。

【全国学力調査の目的】

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【全国学力調査の内容(中学校)】

① 教科に関する調査(中学校第3学年を対象とし、調査教科は国語、数学)

出題内容は次の(ア)と(イ)を一体的に問うもの。

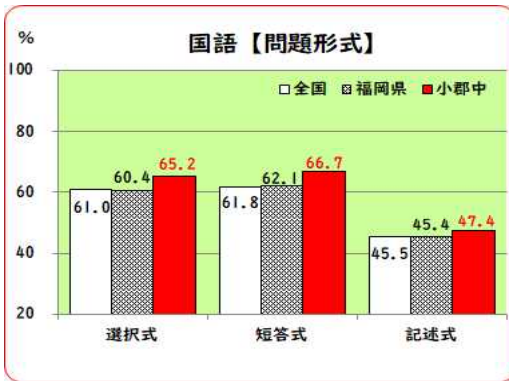
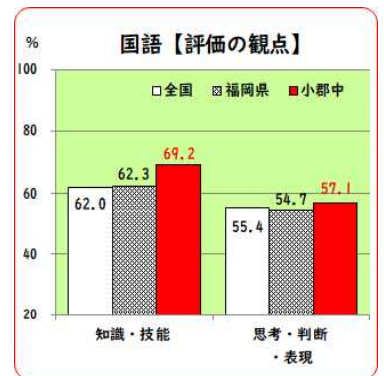
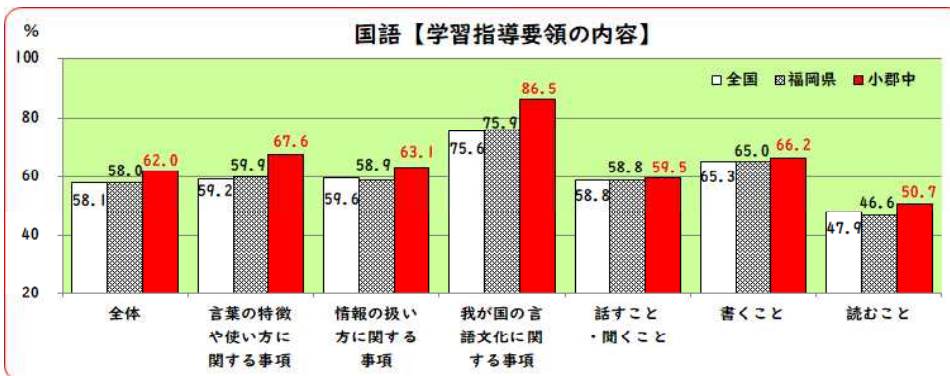
(ア)身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能等

(イ)知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等

② 質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施

学力検査の結果<国語>



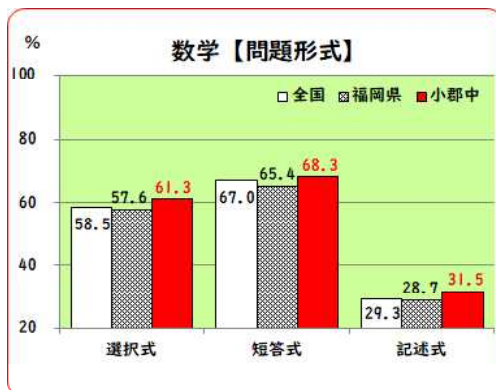
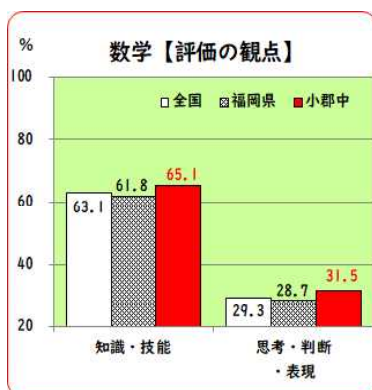
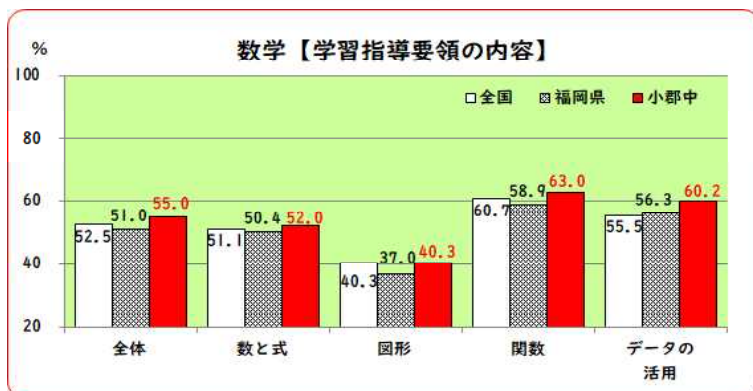
国語については、全国・県平均を4ポイント上回る結果となりました。また、正答率すべてにおいて全国・県平均を上回ったことは素晴らしいことです。課題(正答率が低い問題)としては、「情報と情報との関係について、意見と根拠の関係を理解すること」「話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること」「文章と図を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること」「目的に応じて必要な情報

に着目して要約すること」が挙げられます。相手の考えを理解したり、自分の思いや考えを表現したりするためには、原因と結果、意見と根拠など、話や文章に含まれている情報と情報との関係について理解することが重要になってきます。その際、意見とそれを支える根拠

がどのように結び付いているかを捉えたり、図表などを示すことで文章にどのような効果が生まれているのかを考えることが大切なのです。学校としても「原因と結果」、「意見と根拠」、「具体と抽象」などの基本的な情報と情報との関係について理解させ、実際に話したり聞いたり書いたり読んだりする場面で活用できるように指導していきたくて考えています。

質問紙調査でも、「国語の勉強が好きか(本校83%)」「国語の勉強は大切だと思うか(本校96%)」と全国・県平均を大きく上回っており、さらなる向上が期待されます。自分の課題は何なのかを明確にして、これからの学習に粘り強くとりくんでほしいと思っています。

学力検査の結果〈数学〉



数学についても、全国・県平均を上回る結果となりました。昨年(2年生の福岡県学力調査)は県平均を下回っていた「図形」「データの活用」の領域も県平均を上回り、改善が見られたことはうれしく思います。課題(正答率30%以下の問題)としては、「筋道を立てて考え、証明すること(図形)」「問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと(図形)」「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること(関数)」「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること(データの活用)」が挙げられます。様々な問題を数学を用いて解決することができる

ようになるポイントは、問題解決の構想を立てること、問題解決の過程や結果を丁寧に振り返ること、そして、この方法は適当なのかや結果は妥当のかなど批判的に考察し判断するという一連の流れを大切にすることです。学校としても証明を振り返り、図形の性質を論理的に考察する活動の充実、データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明する活動に力を入れていきたくてと思っています。

質問紙調査では、「数学の勉強が好きか(本校58%)」「数学の勉強は大切だと思うか(本校91%)」は全国・県平均を若干上回り、特に「今回の数学の問題では、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と答えた生徒は67%(全国50%)で大きく上回り、さらなる伸びが期待されます。今後も数学の有用感を感じ得る授業、基礎基本の確実な定着と多様な考え方・解法を粘り強く考える・練り上げる活動を充実させる授業づくりをめざしていきます。

☆3年生は着実な学力の向上が見られ、うれしく思います。本校では、この結果を対象学年のみの学力と考えず、全学年の指導に活かしていきますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



小郡市立小郡中学校

令和6年10月7日



小郡中学校だより

第221号

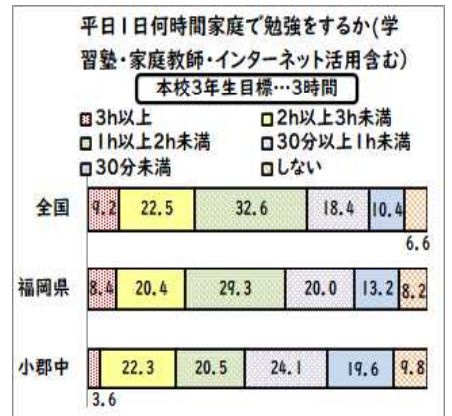
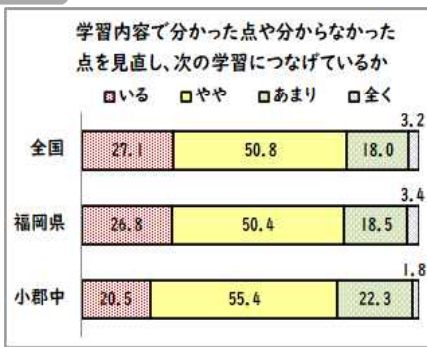
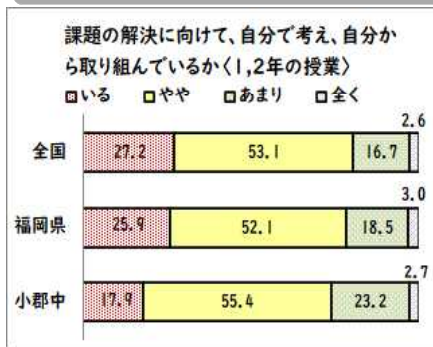
校長 船津 聡 哉

学校教育目標 ～夢と志をもって主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成～

全国学力・学習状況調査について② 【質問紙調査調査について】

前号では、「全国学力・学習状況調査」の学力調査の結果をお知らせしました。学校としても子どもたちの学力における課題を全職員で共有し、その課題克服に向けてとりくんでいきます。そのためには、基礎・基本の徹底を大切にしつつも「理解・思考」型の学習を重視し、子どもたちの思考力・判断力・表現力を鍛えていく授業づくりをしていこうと確認しているところです。「全国学力・学習状況調査」では、学力の他に、学習習慣や生活習慣など、学習状況に関する質問紙調査(3年生対象)も行われています。今号では、子どもたちの学習習慣や生活習慣において、意識していただきたい項目をいくつか抜粋してお知らせします。

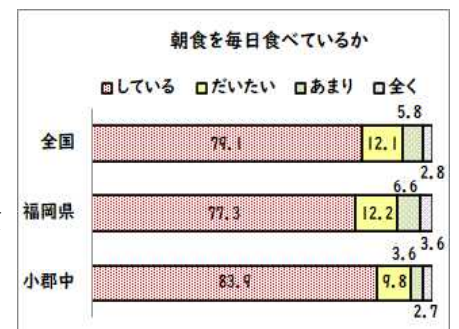
学習について〈学びを調整する力〉



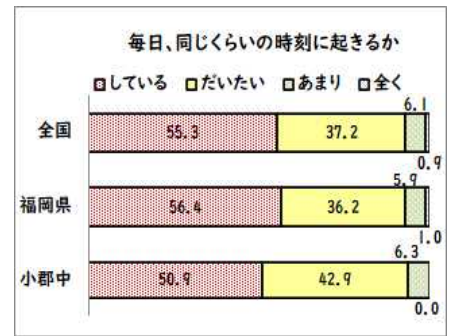
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」や「学習内容で分かった点や分からなかった点を見直し、次の授業につなげているか」では、全国・県平均を下回り、課題となりました。また、「平日1日の家庭学習時間(塾や家庭教師、インターネット活用を含む)」では、53.5%の生徒が1時間未満というのは明らかに勉強不足と言えるでしょう。本校は3年生の学習時間の目標を3時間としています。ぜひ、今までの自分を振り返り、家庭学習時間を確保してほしいと思っています。ただ、【学習効果＝学習時間×学習方法】と言われるように、学習時間が多くても学習方法がまずなければ学習効果は上がりませんし、学習方法がよくても学習時間が足りなければ学習効果は上がりません。学習時間を増やすことと、方法を工夫することを意識してください。配られているタブレットには自主的に学習できる教材も入っていますので、自分の学習の課題を明確にして、効果的に活用してください。『わからないことをそのままにしない』を合言葉に、その日のうちに「わかった!できた!」と実感する粘り強い学習を続けてほしいと思っています。

基本的な生活習慣について

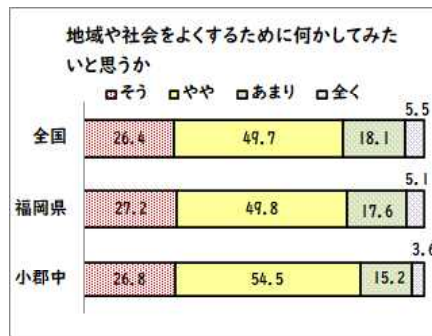
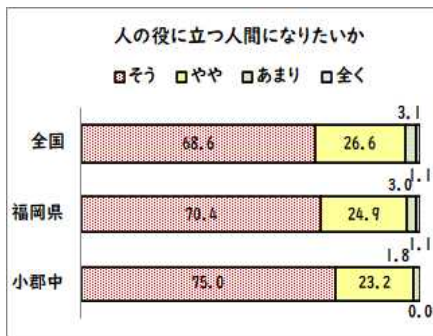
「朝食を毎日食べているか」は、全国・県平均を上回っていますが、6.3%の生徒は欠食と言えます。きちんと朝食を食べている生徒の学力は高いというデータもあります。健康面、学習への集中力の面からも、毎朝朝食をきちんと食べるよ



うにしてください。「毎日、同じくらいの時間に起きるか」では、〈あまり起きていない〉と答える生徒が例年より増え、気になる結果となりました。睡眠時間はバラバラでも起きる時間をそろえることが大切だと言われています。起床の準備を整えるホルモン〈コルチゾール〉の分泌時間がそろい、目覚めがスッキリなのです。再度、自分の生活をしっかり振り返り、基本的な生活習慣の確立をめざしましょう。

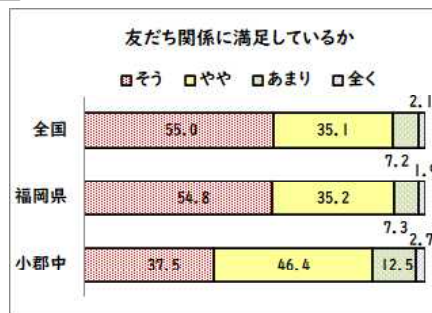
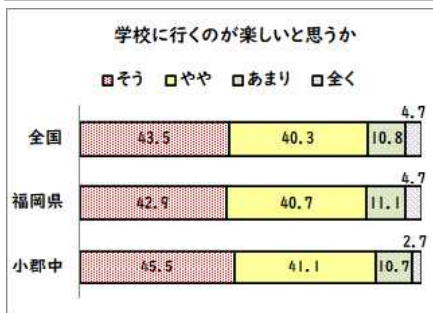


社会や地域への関心について〈協働する力〉



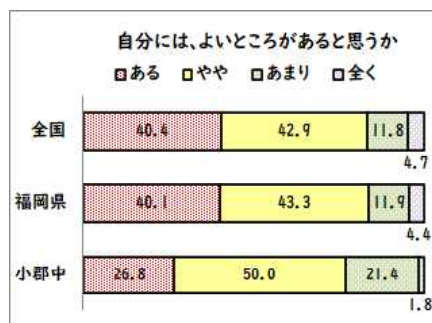
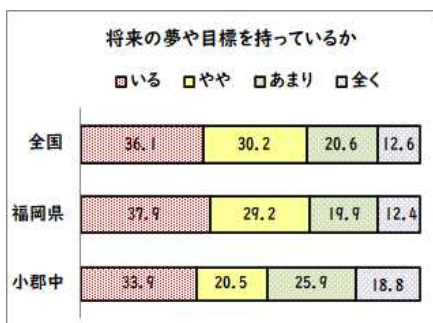
「人の役に立つ人間になりたいか」や「地域や社会をよくするために何かをしたいと思うか」は〈そう〉〈やや〉と答える生徒がとても増えたことは、うれしいことです。地域の行事等に参加したり、社会状況を知り、自分との関係性を考えることは、将来像が描きやすくなります。学力向上だけではなく、自分の生き方を見つめるためにも、日頃から地域(人)とのつながりを大切に、社会情勢にも目を向けたいものです。

学校生活に関することについて



「学校に行くのは楽しい」は、〈そう〉〈やや〉と回答した生徒が、全国・県平均を初めて上回りました。しかし、「友だち関係に満足しているか」では〈あまり〉〈全く〉と回答した生徒が15.2%と気になる結果となりました。「仲間づくり」や「仲間とのつながり」を合言葉にしている小郡中にとっては、大きな課題ではないでしょうか。今後も貢献感や達成感を感じられる体験を積みながら、自己有用感や自尊心を高め、個々の自己実現が図られるように支援していきたいと思えます。

自分に関することについて〈自己有用感・自己効力感〉



「将来の夢や目標を持っているか」「自分には、よいところがあると思うか」では、〈あまり〉〈全く〉と回答した生徒が多いことが気になります。学校・家庭・地域がそれぞれの立場で意識して、子どもたちに関わっていくことが必要だと強く感じています。

学校は、今、レジリエンス(精神的回復力・復元力)や非認知能力(やり抜く力・協働する力・自分をコントロールする力)の育成を合言葉にとりこんでいます。レジリエンスや非認知能力は学力以外の力ですが、子どもたちの成功や学力向上につながる重要な要素です。ご家庭でも意識していただきたいと思っています。